

CFNJ NEWS

エリコにおける勝利

「あなたはどちらにつくのか？」

ISMゲストスピーカー／キングスレイ・アームストロング師

「そこで、民はときをあげ、祭司たちは角笛を吹き鳴らした。民が角笛の音を聞いて、大声でときをあげるや、城壁がくずれ落ちた。そこで民はひとり残らず、まっすぐ町へ上って行き、その町を攻め取った」ヨシュア記6章20節

ISM レポート



クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院

2012.10・11月号 NO.149

ISM（短期国際宣教学校）講義

あなたは どちらに つくのか？



■アイルランド出身。インターナショナル・ゴスペル・アウトリーチ代表。宣教師。

ISMゲストスピーカー／キングスレイ・アームストロング師

エリコにおける勝利



約束の地へ導く

ヨシュアがモーセより受け継いだ大切な任務は、イスラエルの民を「約束の地」へと導くことでした。しかしその任務の目的は単に入るだけで終わりではなく、その地を獲得し、勝利を得る為です！ヨシュアに導かれイスラエルの民はいよいよ約束の地に入ります。しかしすぐに最初のチャレンジに直面します。これがエリコでの戦いです。

私たちの人生においてもさまざまな戦いや困難があります。私達にとっての約束の地は奉仕や働きですが、この奉仕や働きが今は楽だと言っている人はどうか安心してください！明日から大変になるかもしれません。（笑）でも、みなさん、勇気を持ってください！神様は必ず勝利し征服できると約束してくださっています！

今日はヨシュア記の5章の最後から6章の最初を見て行きたいと思います。

「さて、ヨシュアがエリコの近くにいたとき、彼が目を上げて見ると、見よ、ひとりの人が抜き身の剣を手に持って、彼の前方に立っていた。ヨシュアはその人のところへ行っ

て、言った。「あなたは、私たちの味方ですか。それとも私たちの敵なのですか。」すると彼は言った。「いや、わたしは主の軍の将として、今、来たのだ。」そこで、ヨシュアは顔を地につけて伏し拝み、彼に言った。「わが主は、何をそのしもべに告げられるのですか。」すると、主の軍の将はヨシュアに言った。「あなたの足のはきものを脱げ。あなたの立っている場所は聖なる所である。」そこで、ヨシュアはそのようにした。」（ヨシュア5章13節～15節）

神の軍の将の登場

神の軍の将が突然、ヨシュアの前に立ちほだかります。これは実に驚くべき神の現れの箇所です。多くの聖書学者は、この将は受肉前のイエス様であろうと言っています。なぜこれがイエス様と言われているかというと、それはヨシュアが神の軍の将の前にひれ伏しているからです。御使いは礼拝を受けることはありません。イエス様は肉体において馬小屋で誕生する遙か以前から三位一体の神として存在し、永遠に万物を保っておられる方です。みなさんも今

ここにイエス様が神の軍の将として立たれたらどう思いますか？それは想像もつかないような出来事です。でも私たちは常に御使いに取り囲まれています。それを目にするのではなくても私は感じる時があります。私がイギリスで運転していると、いつも御使いが守ってくれていると感ずるのです。というのは、イギリスにはクレイジーな運転をする人が多いのです。聖書には御使いは神に仕え、人に仕えたと書いてあります。私たちは御使いに守られているのです。そして勿論、悪霊の存在もあります。ルシファーが天から落とされた時、1/3の天使がついて行ったと言われていいます。ということは、残りの2/3の御使いが私たちとともにいるということです！しかも聖霊様も共におられます！聖霊様は同時にどこにでもおられ、全世界の神の国の民に同時に話しかけることが可能です。悪魔はそんなことはできません！そのことから私たちは勝利者となるのです！

神がヨシュアの前に現れ、この時、将の剣は抜かれました。それは、戦いが終わったか、又、今から始まるのかどちらかを意味しています。でなければ剣は鞘（さや）におさめられているはずだからです。今も天において霊的な戦いが行われている事を忘れてはいけません。みなさん！最近、特に西側の社会において激しい戦いが行われているのをご存じですか？それは同性婚の問題です。社会の根本的な基盤は家庭です、しかし今、イギリスやアメリカにおいて同性同士の結婚を認めるかどうかで激しい論争が巻き起こっています。これは教会に対しての激しい攻撃です。神様の計画は、男と女が結婚し増えて行くことですが、同性同士が結婚しても子供を産むことはできないのです。多くのクリスチャンがこのことに気づいていません。私を取り巻く世界はこのような霊的な戦いの中にあります。この戦いの中で神の御子イエス様が剣を持って立っておられるのです。これは祈りの戦いです！祈りという領域で戦うわけですが、肉体的な戦いではありません！霊的な戦いです！私たちは霊的な武器で霊的な要塞を打ち砕くことができます！

ヨシュアの最初の問いかけ

ヨシュアは主の軍の将が、突然目の前に現れた時、思わず一つの質問をします。「あなたは私の味方ですか？敵ですか？」（13節）この時にヨシュアは何を期待したのでしょうか？恐らく「私はあなたの味方です。」と言って欲しかったと思います。しかし、軍の将は「いや、どちらでもない、私は主の軍の将として今ここにいる。」と言われました。これは驚きの言葉です。これは何を意味するかというと、神がどちらにつくかより、あなたがだれの側についているか？これが大切だということです。ここで神はご自身の立

場を明確にされたのです。あなたは私の方についてほしいですよ！ということです。このことに気付いた時、私はすごく楽になりました。私は、メソジスト教会で救われ、神学校ではメソジスト神学で教育されました。今では感謝していますが、その学校には、長老派の人たちもいました。毎日、それぞれの再臨の神学について質問し合いました。それぞれが違う教えを受けていますから、話し合っているうちに思いの中での戦いになってくるのです。この人が正しいか？あの方が正しいか？ということになってしまうのです。教団は、その教団の教えをとっても大切にします。しかし、すべてを決めるのは神様なのです。神様は再臨されるたびに、「アームストロングよ！そろそろ行ってもいいかい？」なんて聞かないんです！神様はご自身の働きを人に聞いてから行ったりしません。神様は、ご自分が望まれるままに働かれます。ですから教会がお互いに争っている事は、実は大して重要なことではないのです。一番重要なことは、私達が神様の側についているかどうかです。ヨシュアは、神様にあなたの味方だと言ってほしかったんですね。もちろん主はヨシュアの味方なのですが、それが一番大事ではなくて、私たちが神様の側に立っているかどうかということが重要なのです。私は世界各国を回って奉仕する機会があります。そしてそこで神様がそれぞれの壁を取り除いてくださっているのを見ます。だから私たちは手を取り合って働くことができるのです。私たちの将は神様だからです。将である神様の為働くときに私たちは一致することが可能です。

ヨシュアの2つめの問いかけ

ヨシュアは、神様からの答えを聞いたとき驚いたと思います。顔を地に伏しつけて拝みました。そして二つ目の問いをしています。最初の問いは、あなたは私の味方ですか？という問いで、二つ目は、「わが主は、何をそのしもべに告げられるのですか。」（14節）と尋ねました。ヨシュアは最初の答えに驚きました。しかし、この二つ目の答えにも驚いたと思います。ヨシュアは神様からの力強いメッセージを求めました。恐らく「この戦いは主の戦いだ！絶対勝利できるから安心なさい！」という答えを期待したと思います。しかし、神様の答えは意外なものでした。「靴を脱げ。あなたの立っている場所は聖なる所である。」（14節）という言葉です。これは素晴らしいメッセージです。抜き身の剣を手に持ち、これから戦いが始まるようとしている時に、「上着を着て武器を持ちなさい！」ではなく、先ず「靴を脱ぎなさい。」そして「礼拝しなさい。」ということです。これはすごい答えです。みなさん、普通はこれから戦いが始まるようとしているのにじっとしている場合じゃない！と思うかもしれません。しかし、だからこそ静まる

時が必要です。私たちは静まって主が神であるということを知らなければなりません。神様にとっては、その時は早すぎることもなければ、遅すぎることもありません。そして、急ぐこともありません。神様がそこに来てくださるなら、そこが聖なる場所です。そして、みなさん！主が共にいてくださるという事実が大切な事です。その約束が大切な事です。みなさん、5章の最後の言葉をご覧ください。すばらしいですね。「そこで、ヨシュアはそのようにした。」(ヨシュア記5章15節) 神様と議論などせず、すぐに従いました。

エリコでの戦い

では、6章に入りましょう。「エリコは、イスラエル人の前に、城門を堅く閉ざして、だれひとり出入りする者がなかった。主はヨシュアに仰せられた。「見よ。わたしはエリコとその王、および勇士たちを、あなたの手に渡した。あなたがたは戦士はすべて、町のまわりを回れ。町の周囲を一度回り、六日、そのようにせよ。七人の祭司たちが、七つの雄羊の角笛を持って、箱の前を歩き、七日目には、七度町を回り、祭司たちは角笛を吹き鳴らさなければならない。祭司たちが雄羊の角笛を長く吹き鳴らし、あなたがたがその角笛の音を聞いたなら、民はみな、大声でときの声をあげなければならない。町の城壁がくずれ落ちたなら、民はおのおのまっすぐ上って行かななければならない。」(6章1節～5節) みなさん、これは神様が話して下さった驚くべき言葉です。ヨシュアは、これを聞いてあいた口がふさがらなかったのではないかと思います。いったいどうやって自分の軍の人たちに伝えようか。一度も武器を使わず、七回まわるなんてどのように説明しようかと。1節を見てください。「エリコは、イスラエル人の前に、城門を堅く閉ざして、だれひとり出入りする者がなかった。」(1節) イエス様は「盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」

(ヨハネ10章10節) と言っておられます。エリコというのは敵陣の事です。出入りさせないで縛るのは敵の仕業です。しかし、イエス様は門です。イエス様にある者には自由があります！

この戦いに必ず勝つ！

エリコの門は固く閉ざされていて誰も出入りすることができません。私たちは確かにキリストの奴隷ですが、本当に自由だということができます。みなさん！私たちは「悪魔の奴隷になって縛られるか？」「神様の奴隷になって自由になるか？」の2つしかありません！2節を見ると、「見よ。わたしはエリコとその王、および勇士たちを、あなたの手に渡した。」(6章2節)と書いてあります。ですからこれは、ヨシュアへの神様からのメッセージで、「あなたは必ず勝利する！」という約束です。神様は、「この戦いは必ず勝つよ」と言ってくださっています。「しかし、神に感謝します。神はいつでも、私たちを導いてキリストによる勝利の行列に加え、至る所で私たちを通して、キリストを知る知識のかおりを放ってくださいませ。」(2コリント2章14節) 神様は、私たちに勝利を約束してくださっています。そして、4節で指示が与えられています。非常に珍しい指示ですね。聖書にはこれ以前にこのような指示は一度もありません。神様には神様の方法があります。ですから、神様が世界で起きているリバイバルと同じ方法を用いて日本にリバイバルを起こすとは限りません。というのは、日本が持っている霊的雰囲気はほかの国と違うからです。この間、札幌がつくられた歴史を聞きました。人が離れないように公な売春宿を作ったと聞きました。ですから、札幌の土台には性的な放縦が最初からあるわけです。これは、私のアイルランドの霊的雰囲気と大きく違います。ですから、アイルランドで直面しなければいけない霊的戦いと、札幌が直面しなければならない霊的戦いの種類はまったく違うということです。そして目に見えない世界のことは私たちに全部は見えません。みなさん、私たちは



夏休み期間中に開催されたISMの授業風景 (キングスレイ師)



神様の方法を学ばなければいけません。そのためには、日々神様と交わりをもたなければいけません。クリスチャンライフは、私と神様の関係に基づいたものだからです。聖霊様は私たちの内に与えられていて、聖霊様を通してイエス様と歩む方法を導いてくださいます。

神の勝利は約束されている！

4節に入っていきます。「ラッパを吹きならせ」と書かれています。「七人の祭司たちが、七つの雄羊の角笛を持って、箱の前を歩き、七日目には、七度町を回り、祭司たちは角笛を吹き鳴らさなければならない。」(4節) 角笛は勝利のしるしです。ですから始まる前から勝利のしるしがあるということ。私たちが積極的な人たちという事は、大切な事です。いつも出来ると言ってくれる人たちは、いつも不平不満ばかりの人もあります。太陽が出ればいつも暑い、雨が降れば濡れる、冬は寒い。教会にそういう人がいるかもしれません。しかしこの角笛とは、私たちは勝つ！という声です。2歴代誌13章にアビヤという人が出てきます。アビヤが立ち上がって勝利を宣言すると、敵が後ろに回ってきました。アビヤが目を開いてみると敵に囲まれています。しかし角笛を吹きならすと、神様が勝利を与えました。ですからみなさん、私たちも、信仰をもって歩んでいるのに状況が悪化することがあります。たとえば、請求書が来て支払えない状況の中で神様どうか支払うことができますようにと祈ります。次の日また郵便物が届きます。その中にお金が入っていることを期待しながら開けると、もう一通の請求書が入っていました。これはかなり落ち込む状況ですね。しかし、私たちは勝利を宣言しなければいけない時がある。私は必ず勝つ！と。神様は、私にこの場所を与えたと言ってくださっているからです。

5節を見てください。主がこの町を与えたから叫べと書かれています。「祭司たちが雄羊の角笛を長く吹き鳴らし、あなたがたがその角笛の音を聞いたなら、民はみな、大声でときの声をあげなければならない。～」(ヨシュア6章5節) 興味深いことは、城壁の周りを回る時は、喋ってはいけないという命令は神様は言っていません。ヨシュアが加えたことです。ヨシュアは神様に言われてないことを命令しているんです。それは、彼らが、口を開けば何を語るか知っていたからです。城壁の周りをグルグルまわるなんてそんなアホなことではないと。民が不平不満を言うことを知っていました。だから、ヨシュアは黙れと言ったのです。そして、主がこの町を与えられたから(完了形)叫べと書いてあります。信仰による勝利宣言です。マルコの福音書にこれと同じような考え方が書かれています。「だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。」(マルコ11章24節) あなたが祈り求めれば何でもと

いう事は、(未来)の事です。既に受けたと信じなさいという事は(過去形)です。それはあなたのものとなります。これを私は信仰のギャップと呼んでいます。目には見なくても、イエス様が与えてくださることを信じて叫ばなければいけない期間があるということです。難しいことですが、信仰によってこのように実践しなければなりません。ヨシュアも「主がこの町を与えてくださったんだから叫べ！」と宣言しています。そして、一つの忠告があります。それは、すべての栄光が神様に返されるようにしなさいという忠告です。すべての栄光は主に返さなければなりません。私たちは、エリコに直面する時が来ます。私たちは、神様に従おうとするとき、必ず戦いがあるからです。あなたが、「この日本の為に用いてください」と祈ると、神様はそれをご覧になります。そして悪魔もそれを見て、あなたをやっつけようとします。でも心配しないでください。私たちに、勝利が約束されていますから、信仰によって勝利を叫んでください！そして勝利に堅く立ってください！必ず日本で主の栄光を見ます！■

あなたも御言葉を学んでみませんか？

since 1985 ~ CFNJ聖書学院は...



創立当時のグリコ夫妻

1985年4月にチャールズ&ダイアン・グリコ夫妻により、教派を越えた、すべて神に仕えたいと願うキリスト者の為の短期の聖書学院として創立されました。

以来、御霊に満ちた多くの働き人を日本各地に、そして世界中に送り出しています。学院はみことばを学び、御霊に満たされた歩みをしたいと願うすべてのキリスト者の為に広く門戸を開いています。

新入生募集中！(2013年度、1月から・4月から)

- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年コース
- 働きながら学べます
- 各学期から入学可能
- さまざまな選択科目
- 夏の短期宣教スクール

cfnj.com
無料体験入学
実施中！

平常授業のある3日間
(3泊4日)

CHRIST FOR THE NATIONS
JAPAN

CFNJ聖書学院

※詳しくは事務局までお問い合わせください。



世界の為の祈り

チャールズ&ダイアン グリコ



イラン・イスラム共和国 IRAN

■3年前、イラン人牧師ナダーカニ師が逮捕され、イスラム教徒に福音を広め、イエス・キリストおよび自身のキリスト教信仰を棄てることを拒絶したことで投獄されました。彼は死刑を宣告されましたが、彼の裁判は世界中からの注目を集め、過去2、3年間で非常に多くの国際的な祈りのクルセード、そのうちの一つは毎日ツイッター上で310万人にも及ぶ人々がナダーカニ牧師を釈放するようにとイラン政府に圧力をかけています。これらの祈りによって、彼は2012年9月8日に刑務所から釈放されました。主を褒め称えます！

主は一致団結した祈りの力を私たちひとりひとりに示して下さい。教会が祈ったときにペテロは鎖が解かれ（使徒の働き 12：5-7）、そしてパウロとシラスは牢獄から解放されました（使徒の働き 16：25-26）、今日もそうです。一致した祈りを通して解き放たれる神の力は今も存在し、私たち全員のためにあります。私たちは毎日、「神の御国が来るために」に主の御名にあるこの力を用いるべきなのです。

シリア・アラブ共和国 SYRIA

■テレビのニュースで分かるように、シリアは内戦の中にあり、17万人が彼らの国を離れ、近隣諸国へ逃れたと推測されています。人々の必要は圧倒的にありますが、神は人々の人生を変革するためにクリスチャンを用いています。戦争という悲劇のなか、「聖書の人々」（クリスチャン）が、キリストの愛を分け与え、物質的な必要を満たし、長期にわたり暗い見通ししかないシリア人避難民たちに光を輝かせて、避難している人々の人生にインパクトを与え続けています。

日本と世界中の神の人々の一致した祈りが、避難民がトルコ、レバノン、イラクおよびヨルダンのクリスチャンたちと出会い、彼らを通してイエス・キリストの愛を体験するのを助けています。ますます多くの人々が主を知るようになるために祈り続けましょう。テレビのニュースを見るときにはいつも、関わっている人々のために祈り続けましょう。それがシリアであろうが、日本であろうが、世界中のどの国であっても。神はご自身の王国に人々を導くために世界中で働かれています。そして私たちクリスチャンは、そのプロセスにおいて重要な役割を担っているのです。

ベトナムの諸教会が国内の麻薬中毒者にアウトリーチ VIETNAM

■ここは共産主義国で、政府はキリストの教会を敵視していますが、ベトナム国内のクリスチャンたちが、薬物と絶望の世界に落ちてしまっている人々にどのように手を差し伸べているかを政府の警察が見るとき、教会のミニストリーに対する彼らの怒りが尊敬に変わります。たとえば、ホーチミン市内のインマニュエル・フルゴスベル教会で、以前薬物中毒で今は教会のミニストリーを通して赦しと自由を見出した30人のメンバーが毎日集まって祈り、神を礼拝し、聖書を読んでいます。神の癒やしと解放の奇跡のゆえに、以前は薬物中毒だったこの人たちとその家族が大きな情熱をもって主を礼拝しています。

神にとって不可能なことは何もありません。ベトナムおよび世界中にいる私たちの兄弟姉妹であるクリスチャンのために祈り続けましょう。神が召して下さいるように、私たち教会が「世の光、地の塩」となれるように。

だから、こう祈りなさい。
天にいます
私たちの父よ。
御名が
あがめられますように。
御国が来ますように。
みこころが
天で行われるように
地でも行われますように。

マタイ6章9節・10節



フランス FRANCE

■2012年3月、フランス、トゥールーズのユダヤ人学校で教師1人と3人の子どもたちがイスラム系テロリストによって殺害されてからこの5カ月で、フランス系ユダヤ人に対する反ユダヤ主義的攻撃が40%も上昇しています。たくさんのフランス系ユダヤ人が子どもたちを海外に留学させたり、中にはイスラエルへの移住を真剣に考えている人たちもいます。フランスはイスラエル（約600万人近く）とアメリカ合衆国（約650万人）に次いでユダヤ人人口が第3位（50万人）の国です。

ユダヤ人を迫害する人々が福音を聞き、その光を受けて変わるように祈りましょう。ちょうど使徒パウロがクリスチャンを迫害する者からイエスの熱心な弟子と変えられたように。祈りを通して神の力は無限です。

イスラエル ISRAEL

■四方八方からイスラエルへの深刻な脅威が拡大しつつあります。トルコは、かつては友好国で同盟国であり、人気のある休暇にでかける場所でしたが、今やイスラエルの面前でその扉をバタンと閉ざしてしまいました。エジプトはムスリム同胞団に引き継がれ、その大統領であるムハンマド・ムルシーがハマース首相に「エジプトとパレスチナは一つ」と伝えました。シリアでは、国内紛争中のどちらのサイドもイスラエルに対して同じく憎しみを抱いています。イランとイラクは、かつては敵同士でしたが、今や協力して、イランの宗教的指導者のメシアニック・デーの狂気のビジョン、すなわちイスラムの狂信的ビジョンである「イスラエルのない地図」の実現のための核爆弾製造を遅らせる目的で行われている西洋諸国のボイコットを打ち負かそうとしています。

私たちは明らかに終わりの時、イスラエルが自国以外の他の国々からは助けがないという時にいます。彼らの助けは神だけです。そして神は、ご自身の力を示し、他の国々をひっくり返してこの国を救いだされます。これはユダヤ人にとって、神のご臨在と力の力強い証しとなり、それゆえ多くのイスラエル人々をメシアニック・ジューへと導くでしょう。今、そして将来において、祈りについてイスラエルとともに立つことが私たちの責任です。

アメリカ合衆国 UNITED STATES OF AMERICA

■大統領選挙が11月6日に行われます。ロムニー率いる保守派キリスト教プラットフォームの共和党 対 中絶および同性婚に賛成しているオバマ率いるリベラル派民主党です。これは重大な選挙であり、この国と世界の将来に影響が及ぶでしょう。9月26日から11月6日までの40日40夜の連鎖祈禱を行う何十万という人々にぜひ参加して下さい。あなたの祈りが真理、いのち、そして私たちの世界の光のための戦いに必ず違いをもたらします。



今年の夏も、 昨年を引き続き ISM「短期国際宣教学校」 が開催されました!

(7月17日から8月31日の約7週間)

ISM2012レポート!



26名の参加者!

■第二回目のISM(インターナショナル・スクール・オブ・ミッションズ)は、7月17日~8月31日まで、主の祝福の内に開かれました。昨年はスタッフとしてアメリカから参加、協力したウィル・パーソンズ師が、今年はISM校長として、一家五人で参加し、ISMをリードしてくださいました。全期間参加したフルタイムの学生が、北海道から5名、関西と関東からそれぞれ1名、そしてメキシコから1人の学生、合計8名が参加しました。この他に、日本人、アメリカ人、メキシコ人の学生が合計18名参加しました。

第一級のティーチング!

■学生は、地元札幌近郊の牧師から「クリスチャンホーム」や「伝道」、「世界宣教の展望」などについて学びました。そしてISMでは毎週、世界各地の第一線で活躍している神の器たちを招き、今主がなさっておられるみわざを聞き、また、みことばから宣教について学ぶ事ができました。いずれも、第一級のティーチングです。講師と講義名は下記の通りです。

南三陸町の人々に祝福あれ!!(被災地への奉仕活動)

■ISMの最終週(8月26~31日)、ISM生とその家族、総勢23名で東北の南三陸町にアウトリーチに行きました。OGAフォー・アイトというノンクリスチャンの団体が現地のホストとして迎えてくれ、そこで、地元住民のための作物の収穫作業をお手伝いしました。ある日の午

後は、300キロものトマトを収穫しました! 地元の仮設住宅が並ぶ場所を訪問する事もできました。そこで、チームの子どもたちが日本のフォークダンスを演じ、来てくれた住民の皆さんを大いに楽しませました。それから、歌、あかしと続き、イエス・キリストの福音が語られました。チームのメンバーであるメキシコ人アレハンドラは、1人の女性のため、福音メッセージのフォローアップをするのみならず、彼女を主のみもとへと導くことができました。ISMのために祈って、ささげてくださいましたお一人お一人に感謝します。ISMは大成功でした。すばらしいアウトリーチで締めくくる事ができて感謝でした。



●OGAフォー・アイトでの収穫作業をする学生達。



●仮設住宅に住む方々を、地元クリスチャンセンターにご招待。



●アウトリーチに参加した、ISM2012学生とその家族。

●講師名	●講義名	講義回数	DVD	CD
・ジョン・キャスカート	「パウロの宣教」	8	4	8
・キングスレイ・アームストロング	「ヨシュアー約束の地へ人々を導く」	10	5	10
・マーティン・フェスター	「コスモビジョンー神を知る事」	12	6	12
・セルヒョ・ゴンサレス	「聖書へのアプローチ」	10	5	10
・ビル・パーソンズ	「ローマ人への手紙ー神の人間観」	10	5	10
・ロドルフォ・ガルサ	「スーパーナチュラルクリスチャン」	6	3	6
・井上馨	「証し」	1	1	1

●講義のDVD・CD(1講義DVDは800円・CDは500円)を希望される方は、事務局にご連絡ください。

★予告:来年、ISM2013は、7月16日(火)~8月30日(金)に開きます。アウトリーチは、8月11日(日)から17日(土)を予定しています。



坂本麗名
(2年卒業
・福島県出身)

2012年7月6日(金) 卒業・修了式

学びを終え、3名の学生が学びの舎を旅立ちました。新たな歩みのためにお祈りをお願いします。

■ハレルヤ! 主イエスキリストの聖名を讃美します。2年間を振り返ると、神様と先生およびスタッフの方々と主にある兄弟姉妹、そしていつも支えとなってくれた主人の清恵さんの愛と恵みが豊かに絶えず注がれていたことを思い感謝でいっぱいです。学院で主の御霊が豊かに働かれています。『主は御霊です。そして、主の御霊のあるところには自由があります。』これからも栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きたいです。

■主の御名をほめたたえます。神様と多くの方々のおかげで、2年間の学びの期間を終えることができたことを心から感謝します。学院での2年間の学びはどれも素晴らしい、多くのことを学びました。また、昨年3月の震災で私たちの故郷が被災したとき、この学院や関係する諸教会の方々がイエス様の愛を私たち家族に表して下さいました。そして、なんと私の家族全員(5名)がイエス様を信じ、受け入れることになったのです! こんな素晴らしい体験をしたことは、今までありませんでした。これまでも、この学院を通して受けたイエス様の愛を忘れることなく、多くの人に仕える者になりたいと思います。最後に、この2年間に共に学び、どんな時にも私を励まし、愛してくれた妻に、感謝!



坂本清恵
(2年卒業・福島県出身)



■まず最初に主に感謝します!そして、お世話になった先生方、吉田さんご夫妻、学院生達に感謝します!学院生活は私にとって知識よりも実践的な面で信仰の訓練でしたけど、神様にはできないことが無いという私が見ていた目標の神様じゃない、いつも自分が試されるのでは無くて、主を愛する心や信仰を試された学院生活でした!最高の神様にこれからも全てを委ねて、主と共に生きていきたいと思えます!



松本こずえ
(1年修了・兵庫県出身)

チャールズ・J・グリコ先生のお母さん「マーガレット・グリコ」姉が 103歳で平安の中、天に召されました。2012年8月11日

チャールズ・グリコから皆様へ

私の母 マーガレットは、1909年8月8日、アメリカ合衆国イリノイ州のシカゴで生まれました。彼女の父親は彼女が生まれる前に亡くなりましたので、未亡人となった彼女の母親によって育てられました。私の母の母親はハンガリーからの移民で、家庭の外に出て働かなければならませんでした。ですから、私の母の子ども時代というのは、貧困と限られた教育という状況にありました。母は年をとるにつれて、「(天国の)おうちに帰りたい」とよく言ったものです。そして2012年8月11日、母の103才の誕生日の数日後、主は天にある神の家に母を召して下さいました。彼女は今そこにいます。地上生涯において、主の変わらない愛を証した『雲のようにとりまく多くの証人たち』(ヘブル12:1)とともに。母の愛と奉仕の生涯は、私にたくさんのお手紙をくれました。母の生涯はあなた、そしてあなたの子どもたちにとっても、助けとなるものかもしれません。



1. 私たちの背景がどんなものであっても、すべての人が尊いのです。このことは、神様が私たち一人一人をお造りになり、そして私たちを個人として愛して下さいている事実に基づくものです。私たちはこの世のやり方を通して自分の存在意義を求める必要はありません。イエス様が私たち一人一人のために死んで下さったという事実は、たとえこの世が何と言おうと、私たちを主の目に尊いものとして下さっています。事実は『私たちは、キリストにあって満ち満ちているのです。』(コロサイ2:10)
2. 私たちの体は自然に成長しますが、私たちの霊は成長することを選択しなければなりません。母は主を深く求めることを選びました。みことばを読んで、イエス様の模範に従う事を選択したのです。彼女は悪い(間違った)ことではなく、良い(正しい)ことを行うことを選びました。毎日の適切な選択を通して、私たちはみな、霊的に成長することができます。
3. 『私たちの前に置かれている人生の競争を、イエス様から目を離さないで走り続けようではありませんか』(ヘブル12:1-2)母は自分の前に置かれていた人生の様々な状況を受け入れ、不完全な人間に目を向けるのではなく、いつもイエス様から目を離しませんでした。これが彼女の強さの源でした。

■カリスマ誌：どうしてこの職務に就任することになったのですか？

■シーツ：私は CFNI と何年ものつながりがあります。妻のセシと私は二人とも 70 年代後半に CFNI の学生として学びました。79 年と 80 年には、私はここで礼拝をリードする働きをしました。それから何度か非常勤として教えたり、ここ数年も年に数回ですが、学生たちに対してメッセージをする機会を頂きました。ですから、私はデニス & ジンジャー・リンゼイと素晴らしい関係をずっと持ち続けているのです。

以前デニスから、このポジションについて考えてみて欲しいと頼まれた事がありました。しかし、その時は私は牧会をしていて、ここが自分達の居場所だと確信していました。しかし今回は違いました。私はここ 2～3 年の間、自分の職務と次の任務との狭間にいることは分かっていたのですが、主が次に何を計画されているのか明確にはわかりませんでした。そして旅をしながらの執筆中でもありました。しかし約 1 カ月前にこの話が持ち上がった時、これは主かもしれないと、心から感じました。なぜなら私は若い世代に対してとても熱い情熱を持っているからです。

私はこの国に、そして他の国々に大覚醒が来るのを見たいという情熱を感じています。私はここ数年の間、この情熱とエネルギーのほとんどをより若い世代の人たちに注ぐことに焦点を当ててきました。私はずっと渴望してきたもので、これ以上のものはありません。しかし、私は自分がこの立場にいることを考えたことはありませんでした。旅をしながら本を書くことから身を引くことなど、私自身全く考えた事もなかったのです。このようなことは思い描いたこともありませんでした。これからは私は、週末には旅立ち、アメリカ国内でカンファレンスや集会を行っていきます。神様が私にさせたいと感じていること、この国のあらゆる町々に出て行って、祈りと霊的覚醒をかきたてることを、私はやめることが出来ないのです。

■カリスマ誌：CFNI のためのあなたのビジョンは何ですか？

■シーツ：主が私にビジョンとアイデアを与えてくれたと信じます。CFNI がすでに強い学問的価値を持っているように、CFNI を覚醒のための真の拠点、また、声とならせることができるように主が私たちを助けて下さると信じます。CFNI は偉



「ダッチ・シーツ師」がアメリカダラス市にある本校、クライスト・フォー・ザ・ネイションズ聖書学院 (CFNI) の校長として着任されました! (2012 年 5 月)

■カリスマ誌のインタビューに答えて CFNI のビジョンと使命、今の時代に覚醒の炎を燃え立たせる事について熱く語りました。(対談)

ます。私はここをリバイバルの炎を再び燃やすことができる場所にしたいし、幸運なことにその油注ぎの中で動くたくさんの人々を私は知っています。

■カリスマ誌：実際に、どのようにそのビジョンを実行しますか？

■シーツ：ここに、覚醒の炎を燃え立たせることのできるたくさんの声と賜物を連れてきます。彼らを会議や夕拝、月曜から金曜の午前 11 時からゲスト講義枠に招きます。私たちは今まさに新しいグレート・アウェークニング (大覚醒) に移行しようとしていると私は信じます。今、神がここで、また他の国々でなさろうとしていることは巨大なものになると信じています。

私の強い願いは、私たちだけがということではなく、私たちもこのムーブメントを動かすエンジンにならせてもらえることです。「私たちだけが」ということをほのめかしているわけではまったくありません。しかし、人々がここに来て、そしてここから出ていき、いつもこの覚醒のメッセージ：「神が地上にこう言っています。」を大きな声で知らせる様々な場所の一つでありたいということです。私たちには機関誌があります。私たちには設備があります。私たちには歴史があります。CFNI は、ワーシップ音楽を流通させるために、インテグリティ・ミュージックと契約を結んだばかりです。CFNI は神が地上でなされていることの情報と声の情報交換センターになることができるように私は感じています。私たちには 40 カ国から来ている 309 人の学生がいるので、クライスト・フォー・ザ・ネイションズは地球の多くの場所に触れています。

ダッチ・シーツ、独占オンライン・インタビュー、カリスマニュース・ドットコム

大な、とても偉大な教えを持っています。CFNI は過去 30 年間において、ワーシップ・ムーブメントにおける触媒 (刺激するもの) としての働きをしてきました。ゴードン・リンゼイのもと、CFNI は地上における主導的な声の一つであり、神がカリスマ運動およびジーザス・ムーブメントの中で為されていたことと共にいました。

私はここが先鋒あるいは先端となることのできる場所であると強く信じます。その場所では、このリバイバルのメッセージと覚醒が大きな声で告げられます。これこそ私の心であり、これこそ私の本質です。もしわたしがここで何かするならば、わたしはそのメッセージをもたらす



「幸いなことよ。全き道を行く人々、主のみおしえによって歩む人々。幸いなことよ。主のさとしを守り、心を尽くして主を求め求める人々。まことに、彼らは不正を行わず、主の道を歩む。」
詩篇 119 篇 1 節～3 節

2学期、10月・11月の ゲストスピーカーのご案内

●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。(自由献金制、テキスト代有料。) 通常の授業も聴講が出来ます (有料) 又、入学を検討しておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

新入生の紹介

2012 年 9 月 10 日、ゲストに有賀喜一師をお迎えし、入学式が執り行われました。これからの歩みのためにお祈りください。

大森 正樹 (東京都出身)

「神様の導きにより、この学院に入学できたことをとても嬉しく思っています。かねてから聖書の学びをしたいと思っていたので、祈りが聞かれて感謝です。神様と向き合う時間がとれて、神様の御心を知れたらいいと思います。主に栄光を帰すように頑張りたいと思います。」



10月22日 (月) 1・2・3時間目
岸 義紘 師

巡回伝道者。JTJ 宣教神学校創立学長。ムラサキスポーツ競泳チーム監督兼選手。サキソフォンソロアルバムをリリース。コンサート活動、著書多数。



10月23日 (火) ~26日 (木) 1・2時間目
ダニエル・マカーティ 師

ダニエル・マカーティ師は、家族と共に20年以上東南アジアで開拓宣教師として働く。ハッピー・ファミリー海外ミニストリーの創設者、又はディレクターとして、それぞれフィリピンとビルマで聖書学校を創立。著書には、妻と8人の子供と共にアジアで宣教してきた証し、「Is God Cool or What!」がある。



11月13日 (火)・14日 (水) 1・2時間目
手束 正昭 師

日本基督教団高砂教会主任牧師。日本民族総福音化運動協議会理事・事務局長。日本基督教団聖霊刷新協議会世話人代表。日本リバイバル同盟評議員。「キリスト教の第三の波—カリスマ運動とは何か—」他著書多数。



11月13日 (火)・14日 (水) 3時間目
アンドリュー・インブリー・手束 師

結婚&家族関係 認定臨床セラピスト。兵庫県高砂市にあるコーチング、カウンセリングおよびコンサルティングの専門機関である、ライフ & ファミリーライフ・センター創設者、及び、ディレクター。高砂教会主任牧師の手束師の義理の息子にあたる。



11月19日 (月) 1・2時間目
進藤 龍也 師

【罪人の友】主イエス・キリスト教会牧師。刑務所伝道ミニストリー代表。VIP 川口ホープチャレンジ代表。18歳の時、ヤクザにスカウトされ組員となり刑務所に服役。その後、差し入れされた聖書を読み回心する。JTJ 宣教神学校卒業。就学中より刑務所伝道を始める。



CD/1枚 1,000 円 (送料別)

※「神のみことばの癒しの力」CDで朗読されているみことばは、<http://www.cfnj.com/media.html>で、無料でダウンロードすることができます。

朗読 CD 販売 朗読者／鍛冶川紀子 「神のみことばのいやしの力」

■神様は、みことばを通してご自分を私たちに啓示してくださいませ。そして、創世記から黙示録まで、みことば全体を通して、私たちがいやされて、健康であることがご自分の願いであることを明らかにしておられます。CFNJ 聖書学院では、長年の念願であった、いやしに関するみことばを朗読したCDを制作し、販売する事ができるようになりました。このCDにある、いやしのみことばは、CFNJ 聖書学院、副学院長「鍛冶川紀子師」によって朗読されています。また、心休まる美しいBGMは、以前、CFNIのワーシップリーダーであったクラウド・クーンのアльバム”The Invitation”より許可を得て使用しています。CDは一枚 1000円 で販売します。お求めの方は、CFNJ 事務局にご連絡ください。

どうぞ、神のいやしのみことばを受け取って、いやしと健康をあなたのものとしてください！

お知らせ! 「ジョセファット・ガジマ北海道聖会」

アフリカで数えきれない人々が生き返っている。死を打ち破ったキリストの伝道者を迎えて!

「奇跡といやしの集会」

10/26 決起集会

会場/ICF教会

11/10 ガジマ聖会Ⅰ

会場/真駒内ハイツ北海道青少年会館

11/9 教職者セミナー

会場/CFNJ聖書学院(教職者向け)

11/11 ガジマ聖会Ⅱ

会場/真駒内ハイツ北海道青少年会館

・主催/ガジマ北海道聖会実行委員会 ・事務局/CFNJ聖書学院 ・代表/安田諭



「奨学生基金」への献金のお願い!

経済的困難で入学を断念したり、学びが継続できない学生が少なからずいることを覚え、学院では「奨学生基金」への献金をお願いすることに致しました。未来の働き人育成のために、あなたのお金が生きて働く機会となります。金額はいくらでも結構です。定期的でなくてもかまいません。そのお金をプールして必要な学生の学費や寮費のために使わせていただきます。学院の振り替え用紙に「奨学生基金」と書いてお振込みください。皆様の心に主が働いてくださり、ささげる恵みと祝福を受け取り、皆様の人生が益々豊かにされますように、心から祝福をお祈りいたします。



CHRIST
FOR THE NATIONS
JAPAN

宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688

●e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

